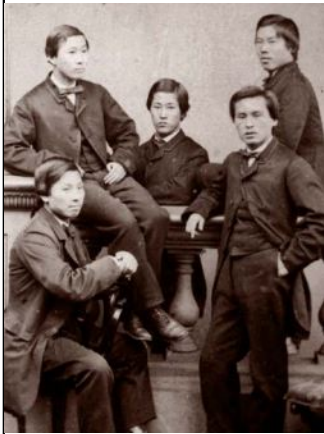


小栗上野介情報86

ホームページHttp : //tozenji.cside.com/ Eメール : tozenji@clock.ocn.ne.jp



2023(令和5)年9月
発行:東善寺 住職 村上泰賢
群馬県高崎市倉渚町権田169
〒370-3401
Tel・fax:027-378-2230
〒振替00120-1-406206東善寺



「長州ファイブ」を異様に持ち上げる風潮

近年、攘夷運動さなかの幕末にイギリスへ留学した攘夷派長州藩の若者5人を「長州ファイブ」と名付け、彼等が、帰国後に明治の近代化に貢献したから日本の近代化が進んだと、異様に持ち上げる風潮(ストーリー)が見られ、教科書・副読本にまで入りはじめています。数年前に映画『長州ファイブ』も作られたという。

不毛の尊皇
攘夷運動-2

◆左記パンフレットのp. 1 トップに「長州ファイブ」を入れる構成で、いかにも彼らが日本の近代化を牽引し「明治日本の産業革命」がなされたように錯覚させる構図となっている。

◆この2015年認定の世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の23施設には「産業革命のための努力遺産」程度のもがたくさん含まれ、さらに見当違いな(萩城下町・松下村塾・グラバー邸)まで混ぜ込んでいる。「萩の城下町」に「松下村塾」があって明治維新が生まれ、「長州ファイブ」によって日本の産業革命が起こった、というストーリーを定着させたい意図が透けて見える。

▲「明治日本の産業革命遺産」パンフレット p. 1 に掲載の5人(左上から時計回りに遠藤謹助・井上勝・伊藤博文・山尾庸三・井上馨)

→参照:HP東善寺の「明治日本の産業革命遺産を検証する」

◆「産業革命は蒸気機関の利用から」とする中学以来の常識はこのパンフレットでは通用しないから、原動力は「水力」の施設が多く、「足踏みフィゴ」までである。蒸気機関の使用で早いのは長崎の小菅修船場だけが明治元年(船を引き上げるための動力で、モノづくりではない)、ほかはすべて明治30~40年代。このままでは「日本の産業革命は明治30年代からでいいんですか」という疑問や誤解が生まれるだろう。

「長州ファイブ」に 尊皇攘夷のテロリストが三人

◆「長州ファイブ」メンバーの伊藤博文・山尾庸三(放火・殺人)と井上馨(放火)は尊皇攘夷運動による放火・殺人の半年後に英国へ密出国している。

1, 攘夷運動の放火 1863文久二年十二月十二日に、攘夷派長州藩士が品川御殿山に建設し完成間近のイギリス公使館に放火、焼失させている。隊長:高杉晋作以下久坂玄瑞、井上馨、伊藤博文、寺島忠三郎、品川弥二郎、堀真五郎、松島剛蔵、赤根武人、白井小助、山尾庸三ら

2, 尊皇運動の殺人 放火の9日後十二月二十一日、伊藤博文・山尾庸三は帰宅途中の国学者塙次郎忠宝(盲目の大学者・塙はなわ 保己一はきいちの四男)と知人加藤甲次郎を暗殺。塙次郎が孝明天皇の廃位を凶って廃帝の先例を調査している、との噂による誤解が理由だった。



◆しかも暗殺実行の数日前に二人は「国学入門」と称して塙次郎を訪ね顔を覚えて殺人を実行、という念入りな確信犯のテロだった。なぜ訪ねたときに噂はほんとうかと質問しなかったのだろう。尊皇攘夷派は「尊皇だ」「攘夷だ」と振りかざせば「何をして自分たちは正しい」という傲慢な意識を育て、それが明治以降の官軍意識につながったのではなかろうか。

◆上記「世界遺産」パンフレットで「国禁を犯し、命を賭してロンドンへ渡った…」と彼らの悲壮な状況を強調しているが、「国禁」以前に人としてやってはいけない殺人を軽率に意図して念入りに犯した二人が、「命を賭してロンドンへ渡った」と独りよがりの文章で紹介されても、殺人を犯したテロリストも自分の命は惜しいのかと鼻白む。とても教科書・副読本で「長州ファイブ」などと紹介できる人物・行いではあるまい。

▲攘夷運動の放火 清水市衛画

横須賀製鉄所は「明治初年は使われていなかったー長州ファイブが再生」 虚説で称賛

◆HP「長州藩の歴史」→「さくらのレンタルサーバ長州ファイブ工業の父 山尾庸三」で

「明治元年(1868)山尾は帰国、…明治三(1870)年三月横須賀製鉄所に移りましたが、旧幕府がフランス人技術者に造らせたこの製鉄所は、当時は使われていなかったので、木戸(孝允)がその再生事業に山尾を起用したのです。山尾はそこで船の建造や修理用のドックを造る事業を立ち上げました」としている。

【注】横須賀造船所は慶応元年に着工し、慶応二年頃から完成した工場ごとに順次すべて蒸気機関で稼働していた。「使われていなかった」「ドックを造る事業を立ち上げ…」は虚説。第1号ドックは慶応三年に掘り始め、山尾が着任した明治三年にはすでに完成間近の工事中で、翌四年に完成している。

◆「長州ファイブ」を異様に持ち上げる風潮がエスカレートすると、全ての工場が順調に稼働している横須賀製鉄所(造船所)の史実を「使われていなかった」と曲げ、「再生する」とおとしめて、「工業の父」山尾が「ドックを造る事業を立ち上げた」と成果を横取りして憚らない。明治政府が日本を近代化した(=遅れていた幕府政治)と教えてきた薩長史観の典型例といえよう。

HPは書籍・論文からの引用が多いから、どこかに虚説の原典があるのだろうが、現在不明。下記のHPは上記を引用し、さらに蔓延しそうなのでたかがHPと見過ごせないから指摘しておく。

◆HP「北山敏和の鉄道いまむかし」

「この製鉄所は、旧幕府がフランス人技術者に造らせたものだったが、幕府が倒れた後は使われていなかった。そこで(木戸)孝允が再生するために庸三を起用した」

◆ひきかえ、HP「NHK解説委員室」は

「(山尾庸三は)幕府がフランスの協力を得て建設していた横須賀造船所を担当し、留学で身に付けた造船技術が活かせる立場になりましたが、実際はフランス人お雇い外国人の力が強く、期待された活躍はできませんでした」と冷静な記述をしている。

そのはずで横須賀造船所の首長ヴェルニーは「国立工場の試験を経て、現場経験3年以上」の力量があるフランス人技師・職工を精選して横須賀に連れてきている。イギリスで造船の見習工をした程度で山尾が入っても話にならなかった。「フランス人お雇い外国人の力が強く」は勢力争いではなく、「現場で高等数学を駆使する仏人技師たちの力量・経験・判断力に敵がなかつた」ということだろう。

塙忠宝暗殺はしばらく犯人不明だったが、

◆渋沢栄一が語った暗殺者の名前

渋沢栄一は1921大正10年、塙保己一先生歿後百年祭・忠宝歿後60年祭で挨拶し「塙先生の息子忠宝(たたとみ)の暗殺者は伊藤博文だ」と発表している。『風』164号・深谷市博字堂清水惣之助氏発行

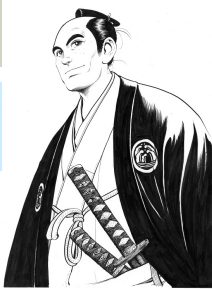
◆田中光顕が残した書翰

「山尾と二人にて、国学入門として塙の宅に至り、よくよく其面貌等を見認め(ミサダメ)置き、或夜塙他より帰宅の途上番町同人宅の附近にて斬殺せしと申事(モウスコト)確に(タシカニ)承り申候」田中光顕が伊藤から聞いた話『伊藤博文伝』上巻の「塙次郎斬殺に関する田中光顕書翰」

小栗上野介記念館

小栗上野介記念館を建設したい

建設についての資金募集を発表以来、地元群馬県内始め全国の小栗上野介・幕末史ファンの皆さんからご支援を頂いております。ありがとうございます。



▲記念館のシンボル画像
木村直巳 画

この記念館の特徴は

- ・幕臣の記念館…明治政府側の人物記念館は日本中にいろいろありますが、純粋に幕府側で日本の近代化に取り組む、志半ばで殺害されても横須賀造船所はじめ多くの業績が今なお現代に影響を与えている人物を確認できる。
- ・歴史の通説を糺(ただ)し・正す…小栗上野介の業績確認を通して、明治以来幕府政治を低く評価してきた通説の誤りを正す

小栗上野介・横須賀造船所 が知られていないのは…

理由1 教科書に載せない…学校制度を始めた明治政府は、無実の罪を着せて小栗父子主従8名を殺害し、家財を奪って軍資金に換えて持ち去ったことがトラウマとなり、明治以来～現在も学校で人物・業績を教えていない…から。

理由2 横須賀造船所の価値・意義を教え(たく)ない…「日本が近代化したのは明治以後」と教えてきた明治政府は、「幕府が行なった幕末の壮大な産業革命の地・横須賀造船所」は教えたくない。まして小栗上野介の名前が出るのも都合が悪いので、横須賀造船所の意義・価値を教えず利用だけしてきた…から。

建設資金の状況 は…

- ・建築資金に高崎市や群馬県からの補助はないのですか、というご質問をいただきますが、宗教法人東善寺が行う事業ですから、政教分離の建前上そのような支援はありません。皆さんからの浄財で造り上げたいと願っています。
- ・「クラウドファンディング」の利用は、多くの方からお

情報あれこれ

◆秋、中之条ビエンナーレで

◆小栗上野介展

「ものづくり大国」の先覚者

幕臣小栗上野介が描いた近代国家

期間：2023令和5年9月1日(金)～10月9日(月・祝)

会場：吾妻郡中之条町博物館「ミュゼ」(木曜休館)

内容：日本近代化の礎を築いた小栗上野介の功績、小栗夫人・母堂の会津逃避行に関する資料展示

入場料：町民無料 町外は大人200円

◆演劇上演 紅月あかつき劇団

「Ogri—小栗上野介—」

脚本・演出 石倉正英
会場：富澤家住宅(大字伊参いさま)
・町役場から北へ車で約20分
・大道峠そば)

日時：令和5年9月23日(土)
14:00と17:00
9月24日(日)
13:00と16:00



すすめいただきますが、せっかくの皆さんの浄財から仲介会社手数料を納める・募集期間が区切られる・謝礼品などを始めから公示して募金、などの条件があるので当面もう少し地道に募金活動続け、様子を見ながらクラウドファンディングを採用するかを決めます。

- ・検討の過程で「不特定多数が入る建物」は建築法上の規制が多く、対処する費用がかさむことがわかってきました。
- ・建築資材の高騰もありますので、「絵に描いた餅」にしない慎重さも必要で、まだ設計図に入れません。

マンガ『天涯の武士』作者・木村直巳先生

小栗かるた 絵札の制作進む

◆小栗頭彰会が制作する「小栗かるた」は現在絵札の制作中で、描画をお願いしたマンガ家木村直巳先生が制作を進めています。現在は下絵がほぼ出来上がり、似たような構図になっているものはないかなど、チェックの段階とのこと。下絵が決まれば、最終描画と色付け段階に



▲現地調査の木村先生(左から二人目)夫妻

入ります。
◆企画委員会では完成したらどういったルールで遊んでもらうか、個人戦・団体戦によってルールを作る必要があり、さらに同枚数を取った場合役札がある側が勝ち、という場合の役札をどれにするか。この3枚を取ると枚数がアップされる「上毛かるた」に倣(なら)ったルールをつくるか、などを検討しています。

◆秋田県由利本荘市で遣米使節展と講演会

鳥海山の北麓、由利本荘市矢島町の大名主三浦東蔵は万延元年遣米使節団の勘定組頭森岡太郎の従者として参加、見聞を広めて帰国した。しかし明治維新の戊辰戦争に際し、身の危険を感じたものか仙台藩を頼って家を出たまま消息不明となっている。

町の曹洞宗高建寺住職佐藤成孝師は三浦東蔵の貴重な歴史を埋もれさせたくない、と、遣米使節展と講演会開催にこぎつけた。

◆遣米使節展 三浦東蔵の史料も展示

期間：2023令和5年10月20日(金)～11月15日(水)

会場：矢島町コミュニティセンター「日新館」

入場料：無料 / 問合せ：曹洞宗 高建寺 Tel 0184-56-2193

◆講演会「日本の運命、幕府の運命

—小栗上野介の日本近代化—

東善寺住職 村上泰賢

会場：由利本荘市矢島町コミュニティセンター「日新館」

日時：11月5日(日) 13:00～15:15

入場料：無料

予約：不要 / 問合せ：曹洞宗 高建寺 Tel 0184-56-2193

◆前号でお知らせした…JICA(国際協力機構)の新作DVD 「横須賀・横浜・川崎から見た東京湾の170年」

DVDは、東善寺で見られます。またHP東善寺>新着情報「4月25日」からのリンクで、You Tubeで見られます。



◇幕末の歴史・小栗上野介ファンの方へ

会員になってください——東善寺「たつなみ会」

倉渕町の小栗上野介頭彰会ではさまざまな頭彰活動していますが、地域の人口減で頭彰会員が減っています。東善寺の「たつなみ会」会員には頭彰会機関誌『たつなみ』を発行のつど頭彰会から購入して会員にお送りし、誌代が頭彰会の活動に役立っています。また東善寺発行のプリント版「小栗上野介情報」や「東善寺だより」などで、小栗上野介・幕末関連の最新情報をお送りします。 □たつなみ会会費 年1800円 お申込み：東善寺へメールまたは電話、ハガキで